



E-mail: honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



<http://www.otedama.jp>

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号



TEL : 0897-32-0302



FAX : 0897-32-0311

にわかに脚光を浴びる「リンゴの唄」 作詩のサトウハチローさんと宮中雲子会長

NHKの連続テレビ小説「マッサン」と、NHKの戦後復興ドラマ「紅白が生まれた日」で、相次いで「リンゴの唄」が紹介され、にわかに脚光を浴びています。ご存じのとおり「リンゴの唄」は、敗戦で夢も希望も失っていた日本の国民の心を癒した歌として、空前の大ヒットとなりました。

終戦から2か月後の昭和20年10月に制作された、映画「そよかぜ」の挿入歌として登場し、歌ったのは並木路子さんでした。作詩は、「小さい秋見つけた」でも知られている「作詞家のサトウハチローさん(写真)」です。

サトウハチローさんは、最近、ノーベル文学賞を受賞した川端康成さんのカラーの「コマーシャルフィルム」が発見されたことでも、話題になっています。もともと、このCMの仕事は、サトウハチローさんの役でしたが、体調を崩したためサトウハチローさんから、親交のあった川端さんに代役をお願いしたのだそうです。CMの中にはサトウハチローさんの詩の朗読が入っています。

また、当時、川端さんは、サトウハチローさんのことを「文化勲章的な日本を代表する詩人」とたたえていました。

このサトウハチローさんに師事したのが、日本のお手玉の会の宮中雲子会長です。宮中会長は、大学に入学した当時、大学の先生から詩の勉強をするならサトウハチローさんに師事することを薦められ、それ以来、ずっと内弟子として過ごされました。ペンネームの「雲子」は、恩師サトウハチローさんの命名です。

サトウハチローさんは、詩の仲間とともに同人誌「木曜手帖」を昭和32年に創刊しました。宮中会長は、この「木曜手帖」の編集にも携わるようになり、200号でサトウハチローさんが他界した後も、600号まで50年にわたって発行を続けました。その後は、インターネット木曜手帖として、現在も童謡を書く人を育てておられます。

また、BS朝日では、「昭和偉人伝」で『サトウハチロー編』が企画され、4月15日(水)21:00~23:00に放送されます。宮中会長と俳優で画家の片岡鶴太郎さんが、サトウハチローさんのゆかりの地を訪ねた様子が、ドキュメンタリーとして放映される予定です。

宮中会長の著書には、サトウハチローさんの詩と人生を描いた伝記「うたうヒポポタマス」(主婦の友社)があります。ヒポポタマスは「カバ」のことで、太っていた自らをヒポポタマスと表現したことによるものです。

